## 【工業:建築・デザイン科】

## 平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教		<b>建築構造</b> 単 位 数 3 学科・学年 <b>建築・デザイン科1年</b>													<u>—                                    </u>	13 HV	<u> </u>							
	=		建築構造 実況出版(株) 副 教 材 図説 建築資料集 (実教出版)											反)										
建る目1234)	おをす造築際ポ来年ので、鉄図建ト建に	<ul> <li>鉄筋コンクリート造、鉄骨造の主体を形成する部材名称と工法の特質を理解させる。</li> <li>製図、実習,工業技術基礎等と関連付けた授業とする。</li> <li>の建築物の見学、施工現場の写真やビデオ等を使い、生徒の興味・関心を高めていく。</li> <li>ト、提出物を加味して、単位の評価を行う。</li> <li>、建築に面白さを感じ、自発的に建築学を探求する生徒を育てる。</li> <li>次にBコースを選択する生徒に対しても、建築構造を体系的に学べる内容にする。</li> </ul>										とを		聞		読む	知 識 .							
<u>※だだ</u> 学期		学習項目 (単元名、教					石丁汉						] ・ 評	が でんしゅう かいしゅう かいしゅ いまり かいしゅ いまり かいしゅう いまり	りポィ	イント		評価方法			能力	カ	カ	理解
前期中間	4	第1章,建築構造のあらまし 建築構造の成り立ち,発達,分類,働く力, 法律 2章,木構造 1特徴と構造形式						を適切に把握させる ・構造を学ぶ上での、言語でもある部材名称を 覚えさせる。 ・わが国で発達・完成した木造在来工法の特						小テスト 演習課題 取り組み姿勢 前期中間考査	[ 		0	0						
	5	6小屋組 7床組																						
	6							1-																
前期末		第3章,鉄筋 1特長と構造形 2鉄筋 3コンクリート	<b></b> /式	卜構造	<u> </u>		ラ・シャ	ーメン コンク 、鉄筋	/構造 カリ・ カコ:	造と ート ンク	壁式と鉄	.構造の :筋の ・トの	の特徴 構造的 寺徴を	な構造形式である 特徴を知る。 造的性質の違い などごせる。	る。 D違い	ì	小テスト 演習課題 取り組み姿勢			0	0	0	0	
	7	4基礎 5主体構造					・主にラーメン構造の躯体を学ぶ。 前期末考査																	
	9																							
	9	第4章, 鋼構造 1特長と構造形式 2鋼と鋼材 3鋼材の接合 4基礎							・鋼材が建築に広く用いられた理由と、鉄骨 造の主な構造形式であるトラスとラーメンの 特徴を学ぶ。 ・鋼材の種類と加工法および、溶接と高力ボ ルトという二つの接合法を学ぶ。 ・鋼材の骨組みを理解する。								0	0	0	0	0			
後期中間	10	5骨組						۔ د	라 <u>마</u> (12] ♥.	<b>ノ</b> 日 ñ	NH の	· C 1	: <b>月</b> 年 9	ى م										
	11																							
学	11	第5章, その他の構造 1木造枠組構造 2鉄骨鉄筋コンクリート構造 3軽量鋼, 鋼管構造 第6章, 主体構造と仕上げ 1外部仕上げと内部仕上げ							・上記以外で現在用いられている構造の概要 を、簡単に学ぶ。								0	0	0	0	0			
	12								・今まで学んできた構造に仕上材と、これを 取り付けるための下地材の納まりについての サカなヴェ															
学年末	1							基本を学ぶ。																
	2																							
	3																							

## 【工業:建築科】

## 平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教		建築構造 単位数 2 学科・学年									強闯工来向校 主口刑訴性 建築・デザイン科・3年														
_=	=	建築構造 実教出版(株) 副 教 材										図説 建築資料集(実教出版)													
近こ心1231)のを育鉄建実レ将建	工通む筋築際ポ来築技、とン図建ト建深をおいる。	析が生み出したたま 事築技術ともる。 をリリンのでは、 をリリンのでは、 をリリンのでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、	収り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留定 大代表的な建築構造形式である鉄筋コンクリート造および鉄骨造に関 して将来を確立するのに必要な建築構造に関する専門的知識・技術を 大骨造を形成する部材名称と工法の特質を理解させる。 建築構造設計等と関連付けた授業とする。 位工現場の写真やビデオ等を使い、生徒の興味・関心を高めていく。 即味して、単位の評価を行う。 遠じ、自発的に建築学を探求する生徒を育てる。 よび、自発的に建築学を探求する生徒を育てる。 でるAコースする生徒に対して、建築構造を専門的かつ総合的に学べ の諸事情を鑑み、計画を若干変更する場合がある。							関して を習得 。	して、それぞれの特徴と利点を学習する       関       話         習得させ、併せて建築に対する興味や関       ・       す         ・       意         欲								書く	読 む					
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域) 主な学習活動・評価のポイント 評価方法													態度	能力	力	力							
前期中間	4	第3章,鉄 1特長と構造 2鉄筋 3コンクリー 4基礎 5主体構造	<b>-</b> }					・鉄筋コンクリート造の主な構造形式であるラーメン構造と壁式構造の特徴を知る。 ・コンクリートと鉄筋の構造的性質の違いと、鉄筋コンクリートの特徴を学ばせる。 ・ラーメンの躯体についての特徴を学ぶ。							0	0	0	0	0						
	5																								
前期末	6	同上 6仕上と設備 7壁式構造 8プレストレストコンク			. 7- 11	1 44	0	・仕上材と。 の下地材の。 についての。 ・コンクリ			納まり、 基本を学	り、は を学え	および さぶ。	が建築	設備	演	テス 習課 り組み	頁	执		0	0	0	0	0
		8ノレストレ 造 第4章, 鋼構 1特長と構造	告		~	一 卜 傑	2	殊な ・鋼 と、	工法 材が 鉄骨	を 建 建 造	理解 築にり ひ主さ	させる広く見な構造	る。 用いら	っれた しであ	ご理由 うるト	前	期末る	<b>芳</b> 查							
	9	第4章, 鋼構 2鋼と鋼材 3鋼材の接合 4基礎 5骨組					3	・鋼材の種類の加工法に、   の加工法に、   効力ボルト   色を鋼材の骨   の調材の骨   の調材の骨   の可能を   の可能を			こついて (表適切 、という	て学え切合物 ラニン	ぶ。 去であ つの接	である溶 )接合法	容接と	小テスト 演習課題 取り組み姿態 後期中間考	夏 み姿勢			0	0	0	0	0	
後期中間	10							• 新 ·	材の	) 情 浴	組み	を理解	解する	Ö.											
		第4章, 鋼構造 6仕上と設備 7軽量鋼構造 8鋼管構造 9鉄骨鉄筋コンクリート構造					・鋼構造の仕上材と、これを取り付けるため の下地材の納まり、および建築設備について の基本を学ぶ。 ・上記以外で現在用いられている鉄骨構造の 特徴と利点を体系的に学 学年末										0	0	0	0	0				
عدر	1.0														热										
学年末	1												学	学年末考査											
	2																								
	3																								